

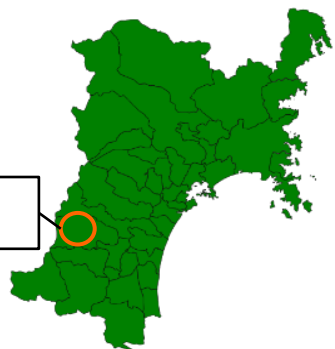
地区の概要

- 事業名：農業競争力強化農地整備業
- 地区名：古関地区
- 受益面積：A=24.8ha
- 総事業費：1,111百万円
- 工期：R3～R10
- 関係市町村：川崎町
- 土地改良区：川崎町土地改良区
- 導入作物予定：水稲、そば、たまねぎ等
- 地区の特徴・PRポイント

- ・法人に農地を集積、集落営農で次世代に継承
- ・そば、たまねぎ、水稲の輪作による農地の高度利用
- ・さつまいもの導入により若手農業者を取り込み

県内位置図

- 位置 しばたぐんかわさきまち
宮城県柴田郡川崎町



ふるせき
古関地区

作付け計画・実績

【作付け計画(促進計画書)】

- たまねぎ A = 3.0ha
- さつまいも A = 2.0ha

【作付け実績(R7)】

- ブロッコリー A = 0.6ha
- さつまいも A = 0.7ha

【作付け計画(R8)】

- ブロッコリー A = 0.6ha
- さつまいも A = 0.6ha

取り組み内容

【取組の状況】

- ・担い手法人の「農事組合法人ふるせきファーム」がブロッコリーとさつまいもの栽培に取り組んでいる。
- 【課題とその対応状況】
- ・農業改良普及センターの指導により、ブロッコリー栽培を令和2年度に始め、令和7年度には57aを作付けした。令和4年度からさつまいも栽培にも取り組んでおり、農業改良普及センターと農業・園芸総合研究所の支援のもと、令和7年度は66aを作付けしている。
- 【今後の展開方向】
- ・ブロッコリーの安定出荷の継続と、さつまいも栽培面積の拡大を目指す

地区位置図・実践エリア



- : ブロッコリー作付エリア
- : さつまいも作付エリア



さつまいも収穫状況



ブロッコリー収穫状況